



生薬は先人の知恵の宝庫

【23】

会津医療
センターの

教えて、

先生!



Q 漢方について、先人の知恵を教えてください（会津若松市 女性 46歳 H・Tさん）
A 今回は生薬のお話をさせていただきます。漢方薬は複数の生薬を組み合わせて作りま

す。生薬とは、自然から得られる動物、植物、鉱物の薬用とな

漢方について知りたい

る部分を指します。

現在使用される生薬の多くは神農本草経（しんなんほんそうけい）という約2千年前の古典が由来となっています。神農本草経は人体への効能を基準にして生薬を分類している点が特徴的で、先人の経験知の集大成と言えるでしょう。

医食同源という発想がありますが、実際に生薬の一部は食品としても利用されます。

例えばシヨウガは料理の食材ですが、漢方診療では必須の生薬です。先人の大発見として、同じ由来の生薬であっても、加工方法によって薬効が変化するという現象があります。

シヨウガを例にとりますと、

吐き気を治める場合は生のまま使用するのが良いとされますし、身体を温めるためには加熱処理をした上で使用することが望ましいとされます。

後者の活用例としては、腹部の冷えを目標に使用される大建中湯という漢方薬が有名です。

大建中湯はシヨウガのほかにサンシヨウ、あめなどほとんど食材でできていますが、近年では消化管運動の改善作用や腸管血流改善作用など科学的な薬理作用が報告されています。

（漢方内科講師 畝田一司）

【毎月第2日曜日、福島医大会津医療センターの協力で掲載します】